

平成27年山形村議会第1回臨時会

議事日程（第1号）

平成27年3月30日（月曜日）午前 9時00分開会

開会宣告

開議宣告

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 会期の決定

自 平成27年3月30日

（1日間）

至 平成27年3月30日

日程第 3 村長あいさつ

日程第 4 諸般の報告

《提案説明、質疑、討論、採決》

日程第 5 議案第33号

日程第 6 閉会中の継続審査の申出について

閉会宣告

出席議員（12名）

1番 大池俊子君	2番 上条浩堂君
3番 新居禎三君	5番 小林武司君
6番 籠田利男君	7番 増澤武志君
8番 大月民夫君	9番 西牧一敏君
10番 竹野入恒夫君	11番 赤羽千秋君
12番 三澤一男君	13番 平沢恒雄君

欠席議員（なし）

地方自治法第121条第1項の規定により説明のため出席した者の職氏名

村 長 百 瀬 久君 副 村 長 中 村 俊 春君

教 育 長 山 口 隆 也君 総務課長 中 村 康 利君

教育次長 根 橋 範 男君 総 務 課 主 幹 上 條 憲 治君

事務局職員出席者

事務局長 籠 田 佐 知 子君 書 記 児 玉 佳 子君

◎開会の宣告

○議長（平沢恒雄君） おはようございます。

これより、平成27年第1回山形村議会臨時会を開会いたします。

本日の会に先立ちまして、報道関係者から取材の申し込みがありましたので、これを許可しました。

傍聴人に申し上げます。議会会議規則によりまして、撮影、録音等を行うことは禁止されています。

（午前 9時00分）

◎議事日程の報告

○議長（平沢恒雄君） 本日の議事日程はお手元に配付のとおりであります。

◎会議録署名議員の指名

○議長（平沢恒雄君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第125条の規定により、2番・上条浩堂議員、3番・新居禎三議員を指名します。

それでは直ちに、本会議に入ります。

◎会期の決定

○議長（平沢恒雄君） 日程第2、会期の決定を議題とします。

去る3月27日開催の議会運営委員会において、本臨時会の会期は、本日1日限りとすることに決定いたしました。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（平沢恒雄君） ご異議ないものと認めます。よって、本臨時会の会期は、本日1日と決定しました。

◎村長招集あいさつ

○議長（平沢恒雄君） 日程第3、村長より招集のあいさつをお願いします。

百瀬村長。

（村長 百瀬 久君 登壇）

○村長（百瀬 久君） それでは、平成27年山形村村議会第1回臨時会の開催に当たり、招集のごあいさつを申し上げます。

ようやく春らしい日々が続いていますが、むしろ暑いくらいであります。春の息吹は忙しく聞こえておりますが、今年は少し春が遅いと思いましたが、一気にその遅れを取り戻すかの勢いがございます。今年はこれから異常気象がないことを本当に祈ることでございます。

さて、本日の年度末にもなり、大変お忙しい中、議会臨時会の招集をいたしましたところ、議員の皆様には全員のご出席を賜り、まことにありがとうございました。今回の議会臨時会におきましては、お諮りします議案は一般会計補正予算の1件であります。

国において、地方版総合戦略の施策の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」として去年12月27日に閣議決定されました。この内容についての説明は1月21日にありましたが、山形村の平成27年度当初予算編成作業はほぼ終了をしていました。国の「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」に基づき、去る2月3日に平成26年度補正予算が成立したところであります。この追加措置は経済の脆弱な部分に的を絞り、スピード感を持って対応することで、経済の好循環を確かなものとするということを基本的な考え方として取りまとめられたものであります。また、山形村の平成26年度一般会計補正予算第5号は2月18日を締め切りとして編成作業を行っていましたが、政府の要求に応える実施計画は国の事前承認がなされず、第5号補正予算に間に合わなかった経過であります。山形村においては、地域住民生活等緊急支援のための交付金についてはプレミアム商品券交付事業と学校を核として地域コミュニティの形成と地域の活性化を促進する事業を考えました。村の子どもたちは村全体で育てることを基本とし、子どもを中心とした学習機会を創出し、そこに多くの世代の住民がかかわりを持ち、交流することによって、新たな地域コミュニティの形成と地域の活性化につなげるようにするものです。そのために地域全体の経営ができる人材を

育成していく必要があります。例えば定年を迎えた人に学び直しをする場を提供し、それによって生きがいを感じ、自らの経験やそこで学んだことを子どもたちに教えてもらうものであります。こうした観点から、国の「地域住民生活等緊急支援交付金」を活用し、図書館改善事業と組み合わせながら、様々なソフト事業を行いたいと考えて関連予算を第6号補正予算として本臨時会に提案するものとし、ます。よろしく願いをしたいと思います。

もう1つお話をさせていただきたいと思いますが、先月23日、シンガポールのリー・クアンユー首相が亡くなりました。きのう、国葬が行われまして、日本からは安倍首相が行かれました。国民からは、建国の父「国父」と言われ、一言では言うことのできない激動の世界を生き抜いてきた世界の指導者から偉大な評価を得ている首相であります。

私はシンガポールに赴任した会社がこのリー首相と当時の社長が将来ビジョンを共有化してつくった会社であったことから、シンガポールの国政に興味を持っていました。当時、貧しい発展途上国を世界有数の富裕国に発展させた偉大な人です。この人の信念というか、哲学を持った政治施策はたくさんありますが、確かにすごい政治家として尊敬できる人です。中国が最近この経済政策のまねをしていますが、国土があまりにも大きすぎて成功するかどうかは疑問です。

少し思い出話をさせていただき、そのすごさの一端をお話したいと思います。シンガポールは50年前にマレーシアから独立した中国人75%、マレー人20%、インド人それから白人と、多民族国家でありまして、面積は淡路島の大きさの小さな国である。当時はマレー半島から日本軍の山下将軍が銀輪部隊で南下し、1日で攻略をしたとの史実があります。また大量虐殺の話がありました。独立当時は中継貿易以外の目立った産業がなく、失業率は14%でありました。そこでリー首相は安い労働力を売りものに、世界の製造業を誘致し、失業率の解消を図りました。一応労働集約型の製造業を数多く呼び込むことに成功し、失業率を解消することになりましたが、そこで次には「3K」を脱し、きれいなIT産業や金融、知的産業に切りかえ、高収益のきれいな国づくりを提案し、実行したわけです。実施したことは一気に20%の賃上げを企業に求め、技術力の高い企業が主導する経済構造に変革をしたのであります。大きな反響がありましたけれども、小さな国でありましたので、統制がとれ、やり抜くことができました。その結果、労働集約型の製造業は、近くのインドネシア、マレーシアに移っていき、現在のすばらしい、きれいな国家をつくり上げることができま

した。

私が赴任したときは、独立から13年目でありましたが、そのときには既にリー首相はこの将来の姿を描き、実行しておりましたので、その話を聞いてすごいなということをおもいました。私たちは時計組み立てというきれいな工場であったために、一応、移行時の目的をお手伝いできましたが、部品製造のプレスや板金、金型等「3K」の労働集約型の企業が海外転出の憂き目にさらされておりました。現在、国際通貨基金の試算でもっとも貧しい国は国内総生産額でカンボジアです。2014年に1人当たり年収が1,000ドルを超えたところで、日本円で換算しますと12万円くらいだということですが、それが、シンガポールは既に1,000ドルの壁を破り、経済の発展を見た44年には1,000ドルの壁を破り、その経済の発展状況を比較するとカンボジアと50年の開きがあると、今、言われております。ここの経済政策に産業の育成に重点を置いた東南アジアの重鎮の死去に思いを寄せた話でございます。

私がもっとも感動しましたことは、1942年に日本軍にシンガポールが占領されましたが、そのときに日本の捕虜収容所にいたリー首相は殺害を予測して収容所を逃げ出し、イギリスに渡ってケンブリッジ大学を首席で卒業して再びシンガポールに帰り、弁護士から首相になったと教えられました。そのとき、個人的な怨念を忘れ、日本の企業を素直に学べと、私たちを受け入れてくれた心の広さに感動を覚えました。確かに私が従業員の家庭に呼ばれていったときも、親はまだ日本人への恨みが残っている人があるので顔を出さないというようなことがありましたが、従業員たちが歓迎をして新年を祝った思い出があります。若干30歳前くらいの話ですが、リー・クアンユー首相、その偉大な政治家に接することができたことに感謝をし、心から哀悼の意をささげるものであります。

最後になりましたが、本補正予算は山形村の元気を後押しするうれしい予算であります。よろしくご審議をお願いし、開会のごあいさつとさせていただきます。本日はよろしく申し上げます。

◎諸般の報告

○議長（平沢恒雄君） 日程第4、諸般の報告を行います。

説明員の出席要求につきましては、議会事務局から報告させます。

児玉書記。

◎議案第33号

○議長（平沢恒雄君） 日程第5、議案33号「平成26年度山形村一般会計補正予算（第6号）」について、村長の提案説明を求めます。

百瀬村長。

（村長 百瀬 久君 登壇）

○村長（百瀬 久君） 平成27年第1回山形村議会臨時会、提案説明を行います。

補正予算、議案第33号「平成26年度山形村一般会計補正予算第6号」の提案説明を申し上げます。

一般会計補正予算第6号は、第1条の「歳入歳出予算の補正」に、第2条の「繰越明許費」であります。

「歳入歳出予算の補正」は歳入歳出予算に1億3,700万8,000円を追加し、補正後の予算規模を35億2,966万3,000円とするものです。

内容は、国の「地域住民生活等緊急支援交付金」を活用したものであります。この交付金は、地域の消費喚起に向け地域の実情に応じ、取り組みを支援する「地域消費喚起型」と「まち・ひと・しごと創生」に向け、新しいひとの流れやひとづくり、雇用の場の創設など地域活性化を促す「地方創生先行型」の二本立てとなっております。

主なものを申し上げますと、歳入予算では、地方交付税の特別交付税に2,424万8,000円、国庫支出金に「地域住民生活等緊急支援交付金」の地域消費喚起型分として1,742万8,000円、地方創生先行型分として2,033万2,000円、プレミアム商品券販売収入7,500万円を計上いたしました。

歳出予算では、総務費の企画費に地方版総合戦略策定事業として300万円、プレミアム商品券交付事業に9,245万円、教育費に地域コミュニティ再生事業費として4,155万8,000円を計上いたしました。なお、地域コミュニティ再生事業につきましては、地域づくりを担う「ひとづくり」と、学校を核とした新たな地域コミュニティの再構築を柱とし、今後の地域活性化を狙いとした予算計上したものです。予算の主な内容を申し上げますと、学校図書館整備費に3,237万2,000円、郷土学習副読本製作費に121万6,000円、地域人材育成プログラム運営委託料に200万円を計上しました。

第2条の「繰越明許費」は歳出予算の経費のうち、平成26年度内にその支出が終

わらない見込みのある事業について、翌年度に繰越して使用することができるものです。今回補正する「地域住民生活等緊急支援交付金」を活用した事業を含め4件、1億3,840万8,000円であります。

詳細につきましては、補正予算及び補正予算に関する説明書のとおりであります。以上です。

○議長（平沢恒雄君）　ここで、議案審査についてお諮りします。

去る、3月27日開催の議会運営委員会において、今回の議案については、委員会付託を省略し、議会、全員協議会を開催して、細部についての補足説明を受けることに決定しましたが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（平沢恒雄君）　ご異議ないものと認めます。よって、本日の提出議案は委員会付託を省略し、議会全員協議会において補足説明を受けることに決定いたしました。

ここで、休憩いたします。

（午前　9時20分）

○議長（平沢恒雄君）　休憩を閉じ、会議を再開します。

（午前10時08分）

○議長（平沢恒雄君）　議案第33号について、質疑を行います。

質問事項が多項目にわたる場合でも一括して質問をしてください。答弁はその後に行います。質疑のある議員の発言を許します。

（発言する者なし）

○議長（平沢恒雄君）　質疑もないようですので、質疑を終結します。

お諮りします。本案は討論を省略して、直ちに採決したいと思います。ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（平沢恒雄君）　ご異議ないものと認め、これより採決をします。

本案は原案のとおり可決することに賛成の議員は、ご起立を願います。

（賛成者起立）

○議長（平沢恒雄君） 起立全員であります。よって、議案第33号「平成26年度山形村一般会計補正予算（第6号）」は、原案のとおり可決することに決定しました。

◎閉会中の継続審査の申出について

○議長（平沢恒雄君） 日程第6、「閉会中の継続審査の申出について」を議題とします。

議会運営委員長より、会議規則第75条の規定による、閉会中の継続審査・調査の申出書が、お手元に配布のとおり提出されました。

お諮りします。閉会中の継続審査・調査事項については、委員長申し出のとおり承認することにしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（平沢恒雄君） ご異議ないものと認め、委員長の申し出のとおり、閉会中もなお継続審査・調査することに決定しました。

◎村長あいさつ

○議長（平沢恒雄君） 以上で、今臨時会の議事日程はすべて終了しました。

ここで村長よりあいさつがあります。

百瀬村長。

（村長 百瀬 久君 登壇）

○村長（百瀬 久君） それでは、閉会のごあいさつを申し上げます。皆様、大変お疲れさまでございました。先ほど臨時議会におきまして、予定しておりました議案をご承認、議決していただきましてありがとうございました。ここに無事閉会を迎えることになりましたことを感謝申し上げます。

さて、4月から、27年度がスタートいたしますが、先に議決をいただきました27年度各予算につきましては、的確に執行してまいりたいと考えております。また、今回追加提案をいたしましたプレミアム商品券は詳細の検討に入り、地域コミュニティ再生事業としての小学校の図書館の整備につきましても同様に企画し、ソフト面の事業とともに実行していきたいと思っております。

山形村といたしましてはまた1つ元気な事業が先に進んだ形となりました。事業終了時の暁には、有効に活用され、山形村の村民の皆さんや、子どもさんたちがさらに

元気を発信していただけると確信しております。

結びに、議員の皆様方におかれましては、季節の変わり目であります、健康に留意され、それぞれの立場で今後のご活躍をご祈念申し上げます。以上を申し上げて、本日、平成27年度第1回議会臨時会を閉会させていただきます。大変お疲れさまでした。ありがとうございました。

◎閉会宣告

○議長（平沢恒雄君） 以上で、平成27年第1回山形村議会臨時会を閉会し、散会とします。ご苦労さまでした。

（午前10時12分）